

# オーストラリア金融政策（2019年5月）

## 利下げ予想が高まるも、RBAは政策金利を据え置き

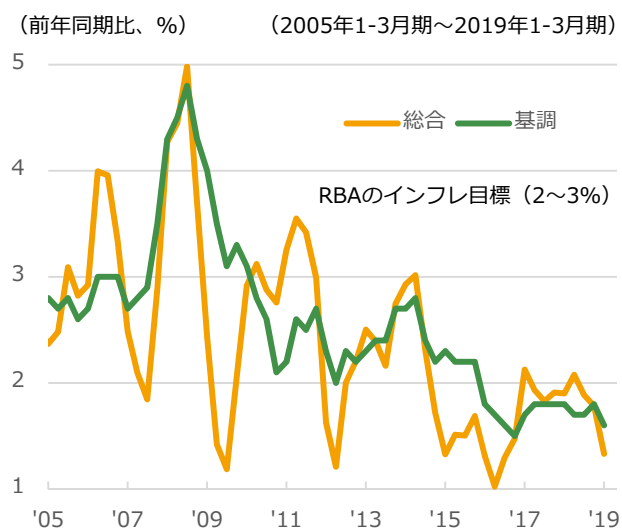
2019年5月7日

### 労働市場のさらなる改善の必要性を指摘

2019年5月7日（現地）、RBA（オーストラリア準備銀行）は政策金利を1.5%に据え置くことを決定しました。4月下旬に公表された2019年1-3月期のインフレ率が下振れたため、直前の市場予想は据え置きと利下げが拮抗していました。基調的なインフレ率は数年来、RBAの目標値である2~3%の下限を恒常的に下回っていますが、RBAは直近のインフレ率が予想を顕著に下回ったと率直に記しています。もっとも、公共投資、資源セクターの活動の高まりに支えられ、今後1、2年のGDP（国内総生産）成長率は2.75%前後に達し、インフレ率は2020年にかけて2%へ緩やかに上昇するとの見通しを、RBAは堅持しています。

RBAは声明文の最終段落の記述を大幅に変化させ、経済には依然として余剰な資源があり、インフレ目標の達成には労働市場のさらなる改善が必要との一文を明記しました。すなわち、現在5%の失業率が今後低下しないようであれば、利下げの可能性が高まるとの示唆です。もっとも、既に年内の利下げの可能性を相当に織り込みつつ、市場金利は低下し、豪ドルも下落しています。結果的に、緩和的な金融環境が景気を下支えすることで、逆に当面の利下げの必要性は低下すると考えられます。世界経済、資源価格が安定的に推移すれば、豪ドルの一段の下落は回避されるでしょう。

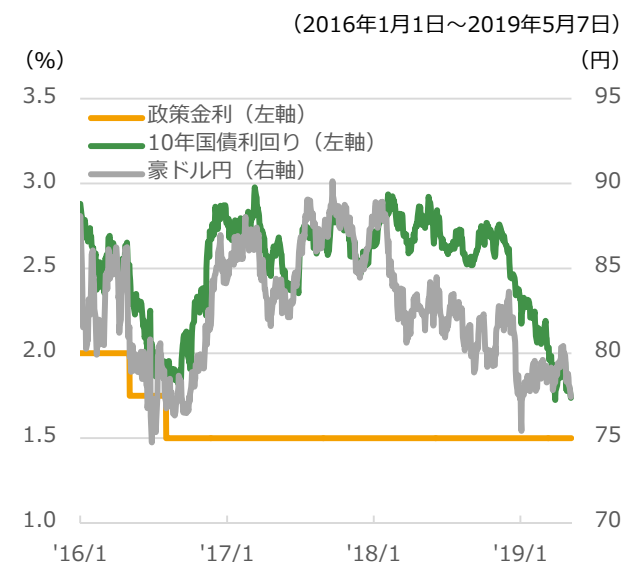
#### オーストラリアの消費者物価指数



※基調とは、消費者物価指数を構成する品目のうち比較的価格変動が大きい品目を除外して計算したトリム平均値。

(出所) オーストラリア統計局

#### オーストラリアの金利と為替



※政策金利は決定日ベース

※10年国債利回りと豪ドル円は5月6日までのデータ

(出所) ブルームバーク

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。